

令和4年度食育推進庁内関係課 食育推進事業実施状況

資料3-2

子ども未来部子どもサービス課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
ちびっこあそびの広場(サン・リフレ函館) 子育て中の親子が集い、交流する場を提供するとともに、子育てに関する情報の交換、育児・栄養相談等ができる場として「ちびっこあそびの広場」を実施し、子育て家庭への支援を図る。	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年 (イベント中止)	1回/年 (イベント中止)	1回/年
決算額	-	-	-	-	-	-
子育てサロン 親子あそびや育児相談、仲間づくり、育児講話の中で、食育について保護者に情報提供や助言を行う。	子育てサロン 13か所	子育てサロン 13か所	子育てサロン 13か所	子育てサロン 13か所	子育てサロン 13か所	子育てサロン 13か所
決算額	-	-	-	-	-	-
「食育だより」の発行 食事が児童の心身の発達に与える影響など、就学前児童の保護者に対する食事の重要性について周知を図る。 (配布先) 公立保育園、公立子育てサロン(子育てサポート教室：平成23年度で終了)	1回/月	1回/月 (平成30年度をもって季節 保育所廃止)	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月
決算額	-	-	-	-	-	-
公立保育園行事 行事食(よもぎ団子作り、緑日ごっこ、焼き芋会、お餅つき、クリスマス会、節分、ひな祭り等)を通じて、日本古来の文化に触れる。 「レストランごっこ」の実施：年長児を中心に、じゃが芋等を栽培し、調理する。	随時	随時	随時	随時	随時	随時
決算額	-	-	-	-	-	-
食材の安全性確認調査 公立保育園を対象に安全性確認のための各種調査を実施する。	公立保育園の給食食材について、以下の検査等を実施し、結果をHPに掲載 ・食品の産地調査12回(毎月1回) ・放射性物質検査26回	公立保育園の給食食材について、以下の検査等を実施し、結果をHPに掲載 ・食品の産地調査12回(毎月1回) ・放射性物質検査22回	公立保育園の給食食材について、以下の検査等を実施し、結果をHPに掲載 ・食品の産地調査12回(毎月1回) ・放射性物質検査17回	公立保育園の給食食材について、以下の検査等を実施し、結果をHPに掲載 ・食品の産地調査12回(毎月1回) ・放射性物質検査15回	公立保育園の給食食材について、以下の検査等を実施し、結果をHPに掲載 ・食品の産地調査12回(毎月1回) ・放射性物質検査17回	公立保育園の給食食材について、以下の検査等を実施し、結果をHPに掲載 ・食品の産地調査12回(毎月1回) ・放射性物質検査36回
決算額	578,257	498,728	341,700	337,876	374,226	813,600
アレルギー性疾患を持つ児童の入所状況調査(全認可保育園等) アレルギー性疾患、食物アレルギーに関する調査を行う。	公立保育園：12回 民間保育園：4回 (4, 7, 10, 1月)	公立保育園：12回 民間保育園：2回 (4, 10月)	公立保育園：12回 民間保育園：2回 (4, 10月)	公立保育園：12回 (令和2年度より 公立のみ4月に確認)	公立保育園：随時	公立保育園：随時
決算額	-	-	-	-	-	-
計	578,257	498,728	341,700	337,876	374,226	813,600

子ども未来部次世代育成課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
児童館行事 <目的> 菜園づくり、料理のほか伝統の食文化に触れることにより、参加児童が食への興味関心を持ち、食に関する正しい知識を習得するよう意識啓発すること。 <事業内容> ・児童館菜園…児童館敷地内で種まきから収穫まで野菜作りをし、収穫祭を実施する。 ・料理教室等…うどん、そば、パン、ピザ、お菓子などを作る。 ・餅つき会…臼と杵で餅つきをし、お雑煮やきなこ餅などを食べて日本伝統の食文化を学ぶ。 ・ひなまつり会…地域の方に講師を依頼し、お茶の点て方や作法を学ぶ。	全ての児童館（26か所）および母と子の家（1か所）で、ピザやパンづくり体験やお菓子づくり教室を開催したほか、もちつき会や畑作りに関連した収穫祭を実施した。	全ての児童館（26か所）および母と子の家（1か所）で、ピザやパンづくり体験、パフェなどのデザートづくりを開催したほか、流しそうめん、もちつき会や畑作りに関連した収穫祭を実施した。	全ての児童館（26か所）および母と子の家（1か所）で、料理教室を開催するほか、畑作り、収穫祭、伝統行事にちなんだ食文化に触れる事業を実施した。	全ての児童館（23か所）および母と子の家（1か所）で、料理教室や流しソーメン、もちつき会等の行事を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。畑作りと収穫祭は規模を縮小して行い、収穫した野菜等は自宅に持ち帰り食した。	全ての児童館（23か所）および母と子の家（1か所）で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種行事については飲食は禁止で行った。また、畑作りと収穫祭を行った児童館については、昨年度と同様、規模を縮小して行い、収穫した野菜等は自宅に持ち帰り食した。	全ての児童館（23か所）および母と子の家（1か所）で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、もちつき会等の飲食を伴う行事は行わない予定であるが、今後の感染状況により変更となることがある。また、畑作りと収穫祭は規模を縮小して行い、収穫した野菜等は自宅に持ち帰ることを条件に実施する。
決算額	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-

子ども未来部母子保健課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
両親学級 妊婦等に対するの妊娠中や出産後の母子等の栄養や食生活等についての講話を行う。	274名/6回	300名/6回	267名/5回	111名/4回	160名/6回	300名/9回
決算額	-	-	-	-	-	-
乳幼児健康診査 4か月児, 10か月児, 1歳6か月児, 3歳児の健康診査の栄養相談時に, 「早寝, 早起き, 朝ごはん」等の食育推進に関する内容を盛り込むとともに, 保護者等へ健康相談を通じて, 家族全体で健全な食生活が実践できるよう支援している。 ()内は栄養士による栄養相談実施数	5,633名 (5,633名)	5,413名 (5,413名)	4,976名 (4,976名)	4,671名 (2,369名)	4,778名 (3,126名)	4,414名 (4,414名)
決算額	-	-	-	-	-	-
のびっこ健診 幼児期における肥満は, 将来, 生活習慣病になる危険性があることから, 幼児肥満である児を抱える保護者を対象に, 適切な知識と望ましい生活習慣を身につけることができるよう指導する。	61名/12回 (延)	69名/12回 (延)	48名/12回 (延)	40名/12回 (延)	44名/12回 (延)	44名/12回 (延)
決算額	-	-	-	-	-	-
地域における健康教育 子育てしている保護者や地域における子育て支援サービスに係わっている関係者などに対し, 管理栄養士等による健康教育を実施し, 乳幼児の健康の保持および増進を図る。	122名/7回	84名/9回	49名/5回	16名/2回	5名/1回	随時実施
決算額	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-

環境部環境推進課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
「残さず食べよう！30・10運動」 食べ残し削減等「もったいない」という気持ちを大切に したライフスタイルの定着を図るため、市民・事業者への 広報啓発を行い、宴会や会食時の食べ残しを減らす「残さ ず食べよう！30・10運動」を推進する。	チラシ、ポスターの事業所へ の配布。 広報紙やホームページ等を通 じた周知啓発。	チラシ、ポスターの事業所へ の配布。 広報紙やホームページ等を通 じた周知啓発。	チラシ、ポスターの事業所へ の配布。 広報紙やホームページ等を通 じた周知啓発。	新型コロナウイルスの影響から、 宴会時の取組である30・10運 動の規模を縮小し、家庭で実践で きる食品ロス削減の取組に関し、 ホームページ等により周知啓発を 行った。	新型コロナウイルスの影響から、 宴会時の取組である30・10運 動の規模を縮小し、家庭で実践で きる食品ロス削減の取組に関し、 ホームページ等により周知啓発を 行った。	新型コロナウイルスの状況を 注視しながら、内容を含め実 施について検討する。
決算額	—	6,123	5,720	—	—	—
「食品ロス実態調査」 本市における燃やせるごみの約4割を生ごみが占めてお り減量化が課題となっていることから、家庭から排出され る食品ロスの実態を詳しく調査する。				家庭系燃やせるごみの試料中の食 品廃棄物（厨芥類）の割合、食品 ロス（直接廃棄、食べ残し）の割 合、直接廃棄されたものの消費期 限および賞味期限等の調査を実 施。		家庭系燃やせるごみの試料中の食 品廃棄物（厨芥類）の割合、食品 ロス（直接廃棄、食べ残し）の割 合、直接廃棄されたものの消費期 限および賞味期限等の調査を実施 予定。
決算額	—	—	—	251,196	—	294,000
「食品ロス削減モニター調査」 食品ロス実態調査を踏まえ、食品ロスを含む生ごみの減 量化が課題となっていることから、各家庭から食品ロスが なぜ、どのくらい発生しているのかなどの実態を詳しく調 査する。					内容： 各家庭で発生する食品ロスの量や 原因等を日記形式で記録する「食 品ロスダイアリー」により調査 調査期間：R3.6.21～R3.7.18 モニター： 主に世帯の食事作りを担っている 20歳以上の市民29名（決定者30名）	
決算額	—	—	—	—	47,620	—
「食品ロス削減啓発活動（てまえどり運動）」 「すぐに食べる」商品については、手前の商品から順番 に購入することを促す啓発POPを商品棚に掲示すること により、消費者への食品ロスに対する意識づけを行うと ともに、期限切れによる店舗内での食品廃棄を削減し、食品 ロスの削減を図る。					実施期間：R3.6.1～R3.10.31 実施場所： コープさっぽろ、魚長(R3.7.1 ～)、道南ラルズ(R3.9.1～) 市内 各店舗 実施内容： 啓発POP・ポスターの掲示、店内 放送、消費者アンケート調査	実施期間：R4.6.1～R4.10.31 実施場所： コープさっぽろ、魚長、道南ラル ズ市内各店舗およびイオン湯川店 (随時拡大予定) 実施内容： 啓発POP・ポスターの掲示、店内 放送
決算額	—	—	—	—	5,280	8,000
「フードドライブ事業」 本市の環境フェスティバルにおいて、「フードドライブ コーナー」を設け、家庭で余っている食品を集めてフード バンクに提供する。						フードバンク道南協議会と連携 し、下記のとおり開催予定。 実施日：R4.7.30 実施場所：函館 葺屋書店
決算額	—	—	—	—	—	30,000
食材使い切り料理教室 家庭から排出される生ごみの減量化を促進するため、各 家庭における生ごみ排出抑制方策として、これまで毎日の 調理の中で捨てられてしまう食材などを有効活用した料理 教室を開催する。	28人／1回	28人／1回	平成30年度で終了のため、 実施予定なし。			
決算額	61,401	57,229	—	—	—	—
計	61,401	63,352	5,720	251,196	52,900	332,000

農林水産部企画調整課

取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
<p>魚食普及対策協議会の設置 水産市場関連団体が、料理講習会等の開催や学校給食普及に関する調査・研究および地産地消促進に関する調査・研究等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした料理講習会 1年生：9/12 2年生：9/14 3年生：9/11 ・「魚と野菜の食育セミナー親子でクッキング」 11/11開催 27名参加 11/12開催 27名参加 ・高校生による魚料理コンテスト 2/22開催、大妻高校食物健康科2年生32人参加 ・各種イベント、料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした料理講習会 1年生：9/11 2年生：9/13 3年生：※9/10実施予定が地震の影響で中止 ・「魚と野菜の食育セミナー親子でクッキング」 11/10開催 26名参加 11/11開催 27名参加 ・高校生による魚料理コンテスト 2/21開催、大妻高校食物健康科2年生34人参加 ・各種イベント、料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした料理講習会 1年生：9/10 2年生：(学校側の都合で実施なし) 3年生：9/9 ・「魚と野菜の食育セミナー親子でクッキング」 11/9開催 23名参加 ・高校生による魚料理コンテスト 2/20開催、大妻高校食物健康科2年生29人参加 ・各種イベント、料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした料理講習会 1年生：9/8 2年生：(学校側の都合で実施なし) 3年生：9/14 ・「魚と野菜の食育セミナー親子でクッキング」 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・高校生による魚料理コンテスト 12/10開催、大妻高校食物健康科2年生34人参加 ・各種イベント、料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした料理講習会 1年生：9/7 3年生：9/6 ・高校生による魚料理コンテスト 2/10の開催はコロナウイルス感染者発生のため中止。後日、校内審査により実施し、大妻高校食物健康科2年生38人が参加。 ・各種イベント、料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした料理講習会 1年生：9/6 3年生：9/12 ・高校生による魚料理コンテスト 2/9、大妻高校食物健康科2年生参加予定 ・各種イベント、料理教室等への食材提供
決算額	699,662	650,625	443,426	291,242	244,179	580,000

<p>青果市場活性化対策 青果市場関連団体が実施する。 (市場見学会の開催, 料理講習会等への支援, 青果物の普及PR等。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだてキッズタウン」 9/24開催 48名販売体験, 延べ580名買い物体験 小学校3, 4年生を対象とした職業体験イベントに青果販売店として出店し, 青果物をPR ・「魚と野菜の食育セミナー親子でクッキング」 11/11開催 27名参加 11/12開催 27名参加 ・野菜ソムリエによる果物を使ったお菓子教室「キッズのフルーツクリスマス」 12/3開催 30名参加 ・高校生を対象とした「野菜たっぷりランチコンテスト」 2/20開催, 大妻高校食物健康科1年生39人参加 ・各種イベント, 料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだてキッズタウン」 9/30開催 48名販売体験, 延べ650名買い物体験 小学校3, 4年生を対象とした職業体験イベントに青果販売店として出店し, 青果物をPR ・「魚と野菜の食育セミナー親子でクッキング」 11/10開催 26名参加 11/11開催 27名参加 ・野菜ソムリエによる果物を使ったお菓子教室「キッズのフルーツクリスマス」 12/2開催 32名参加 ・高校生を対象とした「野菜たっぷりランチコンテスト」 2/19開催, 大妻高校食物健康科1年生30人参加 ・各種イベント, 料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだてキッズタウン」 9/29開催 48名販売体験, 延べ620名買い物体験 小学校3, 4年生を対象とした職業体験イベントに青果販売店として出店し, 青果物をPR ・「魚と野菜の食育セミナー親子でクッキング」 11/9開催 23名参加 ・野菜ソムリエによる果物を使ったお菓子教室「キッズのフルーツクリスマス」 11/17月開催 27名参加 ・高校生を対象とした「野菜料理コンテスト」 2/25開催, 大妻高校食物健康科1年生35人参加 ・各種イベント, 料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだてキッズタウン」 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・「魚と野菜の食育セミナー親子でクッキング」 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・野菜ソムリエによる果物を使ったお菓子教室 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・高校生を対象とした「野菜料理コンテスト」 2/9開催, 大妻高校食物健康科1年生42人参加 ・各種イベント, 料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした「野菜料理コンテスト」 2/8開催, 大妻高校食物健康科1年生21人参加 ・各種イベント, 料理教室等への食材提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした「野菜料理コンテスト」 ・青果物の消費拡大に向けた宣材グッズ製作 ・各種イベント, 料理教室等への食材提供
<p>決算額</p>	<p>303, 283</p>	<p>335, 750</p>	<p>267, 619</p>	<p>99, 424</p>	<p>71, 388</p>	<p>1, 650, 000</p>
<p>農水産物ブランド化推進事業 函館産の農水産物の手軽でおいしい食べ方や郷土料理の調理方法を知ってもらうため, 函館農水産物ブランド推進協議会(2農協, 5漁協, 函館市で組織)の主催による料理教室の開催や, テレビ放映されている料理番組を活用し連携した取組を行う。また, ここで調理してもらった料理のレシピ情報を発信することで地産地消の促進や消費の拡大を図る。</p>	<p>1回目 地元産野菜 2回目 スルメイカ 3回目 地元産野菜と昆布 4回目 地元産野菜と昆布 5回目 函館産の魚 6回目 ババガレイと真昆布</p> <p>111名(全6回合計)</p>	<p>1回目 地元産野菜 2回目 スルメイカ 3回目 地元産野菜, プリと昆布 4回目 スルメイカ 5回目 タコ, タラ</p> <p>97名(全5回合計)</p>	<p>1回目 地元産野菜 2回目 スルメイカ 3回目 サケ</p> <p>47名(全3回合計)</p>	<p>1回目 スルメイカ 2回目 プリ 3回目 地元産野菜</p> <p>60名(全3回合計)</p> <p>※コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>	<p>NCV函館センターが制作・放映している料理番組を活用し, 連携した取組を行った。</p> <p>番組活用回数6回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NCV函館センターが制作・放映している料理番組を活用し, 連携した取組を行う。 ・番組活用予定回数24回 ・函館を代表する水産物である「活いか」を使った料理教室の開催
<p>決算額</p>	<p>700, 000</p>	<p>700, 000</p>	<p>700, 000</p>	<p>0</p>	<p>700, 000</p>	<p>700, 000</p>
<p>1,702,945</p>	<p>1,686,375</p>	<p>1,411,045</p>	<p>390,666</p>	<p>1,015,567</p>	<p>2,930,000</p>	<p></p>

農林水産部農務課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
亀尾ふれあいの里管理委託 〈体験農園〉 管理者の農家の指導のもと、稲作、畑作（播種、草取り、収穫等）を体験する。（稲とそばの体験は4回、他は3回）	一連体験 延べ3,150名 収穫体験 延べ370名	一連体験 延べ2,221名 収穫体験 延べ275名	一連体験 延べ1,409名 収穫体験 延べ375名	一連体験 延べ1,278名 収穫体験 延べ335名	一連体験 延べ1,335名 収穫体験 延べ388名	一連体験 延べ6,593名 収穫体験 延べ543名
〈市民農園〉 管理者の農家の指導のもと、利用者が自ら農作業を行い、農作物を栽培する。	延べ 3,310名/73区画	延べ 3,380名/73区画	延べ 3,325名/67区画	延べ 3,993名/76区画	延べ 3,993名/80区画	延べ 4,480名/80区画
〈果樹園〉 利用者が自ら果樹を収穫する。 (サクランボ、ブルーベリー、ブルーベリー)	延べ170名	延べ81名	延べ128名	延べ161名	延べ179名	延べ365名
決算額	6,090,000	6,090,000	6,116,453	6,225,000	6,853,000	6,853,000
市民菜園管理委託 利用者が借りた区画で自ら農作業を行い、農作物を栽培する。利用者を対象とした栽培講習会を開催している。	延べ 6,865名/143区画	延べ 6,544名/137区画	延べ 6,476名/126区画	延べ 6,119名/103区画		
決算額	2,380,000	2,380,000	2,391,274	2,424,074	0	0
計	8,470,000	8,470,000	8,507,727	8,649,074	6,853,000	6,853,000

保健福祉部保健所生活衛生課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
食品衛生監視指導 (施設の立入検査) 食品製造、販売施設に対して、食品衛生監視員が立入検査を実施する。	4,945件	4,509件	4,509件	3,299件	1,820件	重要対象施設：1,069件 その他の施設：随時
決算額	-	-	-	-	-	-
食品衛生監視指導 (食品の取去検査) 食中毒等の事故が発生しやすい夏期や、食品が短期間に流通する年末に、営業上使用される食品を製造・販売施設から持ち帰り、衛生試験所等において検査する。	269件	276件	260件	113件	109件	199件
決算額	-	-	-	-	-	-
食品衛生に関する講習会 町会、高校、老人福祉センター等から依頼を受け、一般市民向けの講習会を開催する。 (6、7月が多い。)	536名/14回	241名/6回	715名/8回	32名/1回	33名/1回	随時
決算額	-	-	-	-	-	-
食中毒警報の発令 食中毒が発生しやすい夏期（原則として7月1日～8月31日）において、予想気温が28℃以上の場合等に発令する。	8回発令	13回発令	15回発令	11回発令	11回発令	随時
決算額	-	-	-	-	-	-
食品衛生月間の実施 FMいるか等の市政広報を通じ、市民に対し食中毒予防の啓発を実施する。	8月2日(HBCラジオ) 11月22日(HBCラジオ)	8月1日(HBCラジオ) 11月26日(HBCラジオ) 11月29日(FMいるか)	7月30日(HBCラジオ) 12月3日(HBCラジオ)	7月14日(HBCラジオ) 11月17日(HBCラジオ) 7月28日(FMいるか)	7月28日(HBCラジオ) 11月24日(HBCラジオ) 7月29日(FMいるか)	未定
決算額	-	-	-	-	-	-
食品衛生月間の実施 食品衛生協会との共催により、本町交差点において、食品衛生を呼びかけるチラシなどを配布する。	8月4日	8月3日	8月2日	中止	中止	8月2日
決算額	-	-	-	-	-	-
食品衛生管理に関する講習会 事業者等の依頼による食品衛生講習会を開催する。 (6、7、12月の開催が多い。)	1,698名/35回	1,758名/34回	1,485名/29回	420名/10回	203名/6回	随時
決算額	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-

教育委員会生涯学習文化課						
取組事業	平成27年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
家庭教育セミナー 保護者や教職員、地域の関係者が集まる機会に、登録講師を派遣し、家庭教育に関する学習機会を提供する。	「野菜大好き元気な子」 29名 2回/年	該当なし	「食べることの大切さ」 30名 1回/年	無し	該当なし	未定
決算額	-	-	-	-	-	-
社会学級 成人を対象に、主体的な運営のもと、教養と知識・技術等を学びあうことを目的に小中学校で開設する。	そば打ち教室、パン教室等 17講座	パン教室、食品工場見学等 14講座	パン教室、そば打ち教室等 9講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	パン教室、美腸活講座 2講座	未定
決算額	-	-	-	-	-	-
高齢者対象大学 高齢者が社会の変化に対応出来る能力を身につけ、また、経験や知識を地域社会等で生かすことを目的に開催する。	3講座（亀田老大のみ） 「函館のイカの研究」「ニラの効能を探る」、「食と健康のグローバルスタンダード」	5講座 「手軽にできる高齢者向けの健康レシピ」（亀田老大、湯川校、青柳校） 「食事とサプリメントのお話」（大門校で2回）	無し	ヨーグルトのひみつ（湯川校、青柳校、亀田老大）、高齢者の栄養について（大門校）	「カラダは食べた物からできている～元気な人生100年のためのヒント～」（湯川校、亀田老大）	未定
決算額	-	-	-	-	-	-
公民館講座 余暇活動の充実や参加者の資質向上を促し、受講者個人に合った生涯学習のきっかけづくりを図ることを目的に開催する。	該当なし	親子で楽しむバレンタインスイーツ	親子で楽しむバレンタインスイーツ	該当なし	該当なし	未定
決算額	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-

教育委員会教育指導課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
各学校における食に関する指導の充実 食に関する指導に係る全体計画を作成するとともに、栄養教諭や栄養職員が中心となり、食に対する正しい知識や望ましい食習慣をはぐむよう、学校給食の時間を始め、特別活動や各教科等において計画的に指導を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣や食習慣を形成するため、学校においては、食に関する指導に係る全体計画の改善・充実を図るとともに、栄養教諭や栄養職員が中心となり子どもの食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育むよう、学校給食の時間をはじめ、特別活動や各教科等において計画的に指導を行うよう指導・助言を行った。 市立小学校1年生全員に家庭啓発用ファイルを配布し、子どもが望ましい生活習慣を身に付けられるよう、学校と家庭が連携して計画的、継続的な取組を進めるよう学校に対して指導・助言を行った。 学校教育指導（経営訪問）において、管理職を対象に、アプローチを用いて、望ましい生活習慣の確立に関する指導・助言を行った。 平成26年度作成の学校教育指導資料「学校における食に関する指導について～子どもの健やかな成長のために～」を活用し、食に関する指導の充実を図るよう各学校・園に対して指導・助言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣や食習慣を形成するため、学校においては、食に関する指導に係る全体計画の改善・充実を図るとともに、栄養教諭や栄養職員が中心となり子どもの食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育むよう、学校給食の時間をはじめ、特別活動や各教科等において計画的に指導を行うよう指導・助言を行った。 栄養教諭研究協議会を開催し、講師から専門的な講義を受け、栄養教諭の資質向上につながった。 望ましい生活習慣や食習慣を身に付けるため、朝食摂取率等については、全国・全道平均と比較して低いことから調査結果を基に、各学校に対して継続して指導・助言を行った。 市立小学校1年生全員に家庭啓発用ファイルを配布し、子どもが望ましい生活習慣を身に付けられるよう、学校と家庭が連携して計画的、継続的な取組を進めるよう学校に対して指導・助言を行った。 学校教育指導（経営訪問）において、管理職を対象に、望ましい生活習慣の確立に関する指導・助言を行った。 平成26年度作成の学校教育指導資料「学校における食に関する指導について～子どもの健やかな成長のために～」を活用し、食に関する指導の充実を図るよう各学校・園に対して指導・助言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣や食習慣を形成するため、学校においては、食に関する指導に係る全体計画の改善・充実を図るとともに、栄養教諭や栄養職員が中心となり子どもの食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育むよう、学校給食の時間をはじめ、特別活動や各教科等において計画的に指導を行うよう指導・助言を行った。 「食育に関する授業」指導案について指導・助言を行った。 望ましい生活習慣や食習慣を身に付けるため、朝食摂取率等については、全国・全道平均と比較して低いことから調査結果を基に、各学校に対して継続して指導・助言を行った。 平成26年度作成の学校教育指導資料「学校における食に関する指導について～子どもの健やかな成長のために～」を活用し、食に関する指導の充実を図るよう各学校・園に対して指導・助言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣や食習慣を形成するため、学校においては、食に関する指導に係る全体計画の改善・充実を図るとともに、栄養教諭や栄養職員が中心となり子どもの食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育むよう、学校給食の時間をはじめ、特別活動や各教科等において計画的に指導を行うよう指導・助言を行った。 栄養教諭研究協議会を開催し、講師から専門的な講義を受け、栄養教諭の資質向上につなげることができた。 「食育に関する授業」指導案について指導・助言を行った。 望ましい生活習慣や食習慣を身に付けるため、朝食摂取率等については、全国・全道平均と比較して低いことから調査結果を基に、各学校に対して継続して指導・助言を行った。 学校教育指導（経営訪問）において、管理職を対象に、望ましい生活習慣の確立に関する指導・助言を行った。 文部科学省「食に関する指導の手引」を活用し、食に関する指導の充実を図るよう各学校・園に対して指導・助言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣や食習慣を形成するため、学校においては、食に関する指導に係る全体計画の改善・充実を図るとともに、栄養教諭や栄養職員が中心となり子どもの食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育むよう、学校給食の時間をはじめ、特別活動や各教科等において計画的に指導を行うよう指導・助言を行った。 学校教育指導（経営訪問）において、管理職を対象に、望ましい生活習慣の確立に関する指導・助言を行った。 全国学校給食研究協議会において、市内栄養教諭が研究発表を行うにあたり、指導・助言を行った。 朝食摂取率等については、全国・全道平均と比較して低いことから調査結果を基に、望ましい生活習慣や食習慣を身に付けるための指導・助言を、各学校に対して継続して行った。 文部科学省「食に関する指導の手引」を活用し、食に関する指導の充実を図るよう各学校・園に対して指導・助言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣や食習慣を形成するため、学校においては、食に関する指導に係る全体計画の改善・充実を図るとともに、栄養教諭や栄養職員が中心となり子どもの食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育むよう、学校給食の時間をはじめ、特別活動や各教科等において計画的に指導を行うよう指導・助言を行う。 学校教育指導（経営訪問）において、管理職を対象に、望ましい生活習慣の確立に関する指導・助言を行う。 栄養教諭研究協議会を開催し、講師から専門的な講義を受け、栄養教諭の資質向上につなげる。 「食育に関する授業」を実施する際の指導案について指導・助言を行う。 朝食摂取率等については、全国・全道平均と比較して低いことから調査結果を基に、望ましい生活習慣や食習慣を身に付けるための指導・助言を、各学校に対して継続して行う。 文部科学省「食に関する指導の手引」を活用し、食に関する指導の充実を図るよう各学校・園に対して指導・助言を行う。
決算額	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-

教育委員会保健給食課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
親子料理教室(小・中学校) 各学校での取り組みや、函館市栄養教育研究会主催による親子料理教室を通し、食品に対する理解を深め、調理に関する基本動作を学び、日常の食生活に応用できる契機となる調理体験提供する。		市内全小学校対象 開催校：昭和小学校 参加者：親子31名				
決算額	-	-	-	-	-	-
食生活調査 函館市栄養教育研究会で市内小学5年生と中学2年生を対象に食生活に関する調査を実施する(5年に1回)。		「食生活に関する調査」の実施 (調査時期)平成29年6月26日(月)～30日(金) (調査対象) 小学5年生 1,677人、 中学2年生 1,656人				
決算額	-	-	-	-	-	-
家庭配付献立表、給食だより等の配付(小・中学校) 各学校から家庭へ、毎月、学校給食献立表(献立名、主な食材、栄養量など)や、給食だより等を配布し、給食に関する情報提供を図る。	随時	随時	随時	随時	随時	随時
決算額	-	-	-	-	-	-
学校給食展等の開催 学校給食や食育に関する理解や関心を深め、家庭・地域・学校が連携した食育の充実を図ることを目的に、函館市栄養教育研究会主催の給食展を開催する。						
決算額	-	-	-	-	-	-
給食試食会 主に保護者(地域住民など)を対象に、給食の試食と栄養教諭等の講話を行い、学校給食に対する理解を図る。	各校	各校	各校	各校	各校	各校
決算額	-	-	-	-	-	-
和食の日の設定 ユネスコの無形文化遺産に日本の「和食」が登録されたことから、平成26年6月から学校ごと(ブロック別)に月1回「和食の日」を設定し、函館産の農水産物を活用した食材で、季節感のある和食献立を実施し、給食を通じて日本人の伝統的な食文化の伝承と地域の産業や歴史、文化などを学ぶ食育の機会とする。	毎月1回「和食の日」を設定し、市内小中学校で和食献立を実施	毎月1回「和食の日」を設定し、市内小中学校で和食献立を実施	毎月1回「和食の日」を設定し、市内小中学校で和食献立を実施 「だして味わう和食の日」チラシを全児童生徒に配布	・毎月1回「和食の日」を設定し、市内小中学校で和食献立を実施 ・「だして味わう和食の日」チラシを全児童生徒に配付	・毎月1回「和食の日」を設定し、市内小中学校で和食献立を実施 ・「だして味わう和食の日」チラシを全児童生徒に配付	・毎月1回「和食の日」を設定し、市内小中学校で和食献立を実施 ・「だして味わう和食の日」チラシを全児童生徒に配付
決算額	-	-	-	-	-	-
函館市学校給食基本方針の策定 学校給食あり方検討会議で函館市学校給食基本方針を策定する。	基本方針に沿った事業展開	基本方針に沿った事業展開	基本方針に沿った事業展開	基本方針に沿った事業展開	基本方針に沿った事業展開	基本方針に沿った事業展開
決算額	-	-	-	-	-	-

教育委員会保健給食課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
学校給食用食材の調達(安全確認) 入札により一括購入しているが、国産・地場産を優先して調達する。	随時	随時	随時	随時	随時	随時
決算額	-	-	-	-	-	-
学校給食用食材の調達(安全確認) 原産地および製造加工地を調査確認する。	随時	随時	随時	随時	随時	随時
決算額	-	-	-	-	-	-
学校給食用食材の調達(安全確認) 使用食材の中から、抽出により細菌検査および添加物・農薬検査を実施する。	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
決算額	321,000	311,000	318,000	103,950	189,500	190,000
学校給食用食材の調達(安全確認) 給食食材の放射性物質検査を実施する。	30回実施	30回実施	25回実施	21回実施	18回実施	12回実施
決算額	645,286	650,711	542,266	462,503	390,623	241,200
郷土料理を給食に導入し、紹介 献立の多様化を図るとともに、毎年、地域の特色を生かした郷土料理を給食に取り入れ紹介することにより、児童生徒に対しては、郷土に対する関心を深め、興味を持ってもらう。	5～6月に「鶏ちゃん(岐阜県)」を実施	11～12月に「ちゃんらー(福岡県)」を実施	海軍カレー くじらのごま味噌がらめ			
決算額	-	-	-	-	-	-
郷土料理週間の実施 1月の全国学校給食週間の前後に、各地域の郷土料理を集中的に実施することにより、食文化や歴史などを知るきっかけとする。	全国学校給食人気メニュー(関東・中部・近畿) 煮合い、大根と車麩の含め煮、おつけ団子汁、名古屋みそかつ、大坂きつね丼、山賊バーガー、お豆のスーパ	全国学校給食人気メニュー(北海道・東北) 豚肉のかりん揚げ、ずんだもち、サーモングラタン、ほうれん草としめじのサラダ				
決算額	-	-	-	-	-	-
くじら肉を使用した給食の実施 鯨食(げいしょく)文化の継承等を目的に、くじら肉を使用したメニューを学校給食に年1回全市的に導入している。	11月～ くじら竜田揚げ、 くじらの酢豚風 くじら汁	くじら竜田揚げ、 くじらの酢豚風 くじら汁	くじら竜田揚げ、 くじらのごま味噌がらめ くじら汁	学校給食用食材として通常使用 ・くじら竜田揚げ ・くじら汁 ・くじらの大和煮	学校給食用食材として通常使用 ・くじら竜田揚げ ・くじら汁 ・くじらのごまみそがらめ	学校給食用食材として通常使用 ・くじら竜田揚げ ・くじら汁
決算額	-	-	-	-	-	-

教育委員会保健給食課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
地場産品の取組み 毎年、学校給食で使用する食材の中で、旬の地場産の野菜などを選択し、重点的に取り上げ紹介することにより、地産地消の推進を図る。1品地場産品を定め集中的に使用し紹介する。	かぼちゃ（10月） 9月から順次、じゃがいも、人参、長ねぎ、11月からキャベツ、1月大根 7～9月 「函館育ち」トマト（北斗市産）	大根（1月） 9月から順次、じゃがいも、人参、長ねぎ、11月からキャベツ、1月大根 7～9月 「函館育ち」トマト（北斗市産）	9月から順次、じゃがいも、人参、長ねぎ、11月からキャベツ、1月大根 7～9月 「函館育ち」トマト（北斗市産）	<ul style="list-style-type: none"> ・トマト（北斗市産）（7～10月） ・じゃがいも（9～12月） ・人参、長ねぎ（9～10月） ・キャベツ（11～1月） ・大根（雪の下大根）（1月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・トマト（北斗市産）（7～9月） ・じゃがいも（9～12月） ・人参、長ねぎ（9～10月） ・キャベツ（11～1月） ・大根（雪の下大根）（1月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・トマト（北斗市産）（7～9月） ・じゃがいも（9～12月） ・人参、長ねぎ（9～10月） ・キャベツ（11～1月） ・大根（雪の下大根）（1月）
決算額	—	—	—	—	—	—
地場産品の取組み 函館産昆布製品の使用普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産春採り昆布について、学校給食用食材として通常使用 ・函館産とろろ昆布について学校給食用食材として通常使用 ・1月 昆布出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産春採り昆布について、学校給食用食材として通常使用 ・函館産とろろ昆布について学校給食用食材として通常使用 ・昆布出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産春採り昆布について、学校給食用食材として通常使用 ・函館産とろろ昆布について学校給食用食材として通常使用 ・昆布出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食用食材として通常使用 ・函館産春採り昆布 ○昆布出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食用食材として通常使用 ・函館産春採り昆布 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食用食材として通常使用 ・函館産春採り昆布 ○昆布出前講座の実施
決算額	—	37,863	5,000	4,985	—	17,000
地場産品の取組み 函館産食材の使用拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・鮭、ぶり、ヨーグルトについて、学校給食用食材として通常使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・鮭、ぶり、ヨーグルトについて、学校給食用食材として通常使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・鮭、ぶり、ヨーグルトについて、学校給食用食材として通常使用 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食用食材として通常使用 ・鮭 ・ぶり ・ヨーグルト ○民間主催出前講座の活用 ・ぶり（プリたれカツ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食用食材として通常使用 ・鮭 ・ぶり ○民間主催出前講座の活用 ・ぶり（プリたれカツ） ・青のり（すいとん汁） 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食用食材として通常使用 ・鮭 ・ぶり ○民間主催出前講座の活用 ・ぶり（プリたれカツ） ・青のり（すいとん汁）
決算額	—	—	—	—	—	—
地場産品の取組み 地場産食材の活用に向けた仕組みを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産カット野菜等の通常使用 ・じゃがいも ・にんじん 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産カット野菜等の通常使用 ・じゃがいも ・にんじん 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産カット野菜等の通常使用 ・じゃがいも ・にんじん 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産カット野菜等の通常使用 ・じゃがいも ・にんじん 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産カット野菜等の通常使用 ・じゃがいも ・にんじん 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館産カット野菜等の通常使用 ・じゃがいも ・にんじん
決算額	—	—	—	—	—	—
計	966,286	999,574	865,266	571,438	580,123	448,200

保健福祉部健康増進課						
取組事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度実績	令和4年度計画
「第2次はこだてげんきな子 食育プラン(函館市食育推進計画)」推進協議会の設置・開催 第2次はこだてげんきな子 食育プラン(函館市食育推進計画)に基づき、函館市の食育を総合的に推進するため、推進協議会を定期的開催し、食育推進関係団体相互の情報共有を図りながら食育を推進する。	1回/年 (3/29)	1回/年 (2/1)	1回/年 (2/10)	→「函館市食育計画策定推進委員会」の設置・開催へ移行		
決算額	7,804	—	13,940			
「函館市食育計画策定推進委員会」の設置・開催 第2次はこだてげんきな子 食育プラン(函館市食育推進計画)が令和2年度で満了になるため、「函館市食育計画策定推進委員会」を設置し策定および推進する。			「函館市食育計画策定推進委員会」の設置 (3/18)	委員会の開催 3回/年 (書面会議2回含)	委員会の開催(1回/年) 8/19	委員会の開催(1回/年)
決算額			—	1,270,885	78,172	77,370
「第2次はこだてげんきな子 食育プラン(函館市食育推進計画)」の周知啓発事業 3歳児への“はこだてげんきな子”啓発事業 3歳児健診の待ち時間に、「はこだてげんきな子 食育プラン(函館市食育推進計画)」の概要版を配付し、エプロンシアター等を実施することによって、保護者や3歳児に対し「早寝・早起き・朝ごはん」等の食育の啓発を行い、子どもたちの食育を実践する最も大切な場所である家庭における食育の推進を図ることを目的とする。	1,469名/49回	H29で終了 ⇒はこだてげんきな子食育啓発事業に変更				
決算額	98,351					
“はこだてげんきな子”食育啓発事業 小学校新1年生対象に、はこだてげんきな子 食育プラン(函館市食育推進計画)概要版配布を実施することによって、保護者や児童に対し「早寝・早起き・朝ごはん」等の食育の啓発を行い、子どもたちの食育を実践する最も大切な場所である家庭における食育の推進を図ることを目的とする。食育月間である6月に実施する。		1,784人	1,621人	1,637人	クリアファイルを作成し、小学校1年生に配布 1,563人	終了
決算額		—	67,608	75,526	171,600	
食育月間キャンペーンの開催 6月の「食育月間」、毎月19日の「食育の日」を普及啓発し、食育の推進を図る。	⇒健康づくりプロモーション (6月の食育月間で実施)	⇒健康づくりプロモーション (6月の食育月間で実施)	市政はこだて(市広報紙)等で、食育の周知・啓発を図る。	市政はこだて(市広報紙)等で、食育の周知・啓発を図る。	市政はこだて(市広報紙)等で、食育の周知・啓発を図る。	“はこだて健康アプリ”, ホームページ等で、食育の周知・啓発を図る。
決算額	—	—	—	—	—	—

食生活改善普及運動の実施 健康日本21（第二次）における目標として、栄養・食生活に掲げられている項目の目標達成に向けて、食生活改善の働きかけや環境整備が促進されることをねらいとして、9月に食生活改善普及運動を実施する。	9月の食生活改善普及運動の月間に、“はこだてげんきなこ”の食育推進キャラクターをデザインしたPOPを店内に貼付してもらい、“もっと野菜を食べよう”等の食育の推進を図った。 (協働のまちづくりに関する協定を結んでいる店 75店舗が協力)	食生活改善普及運動月間に厚生労働省が作成した牛乳・乳製品普及啓発ポップの掲示を店内等に貼付(栄養成分表示の店67店舗、協働のまちづくりに関する協定を結んでいる店80店舗、普通浴場20箇所)	市政はこだて(市広報紙)等で、食育の周知・啓発を図る。	市政はこだて(市広報紙)等で、食育の周知・啓発を図る。	市政はこだて(市広報紙)等で、食育の周知・啓発を図る。	“はこだて健康アプリ”，ホームページ等で、食育の周知・啓発を図る。
	98,226					
「毎日プラス1皿の野菜」事業の実施 野菜摂取量の増加のため、市内飲食店等に於いて、野菜70g以上使用しているメニューを登録してもらい、市ホームページで紹介 (実施店舗) 市内の飲食店16店舗	5,170	-	-	-	-	
決算額	-	5,170	-	-	-	-

<p>健康づくりプロモーション 第2次はこだてげんきな子 食育プラン（函館市食育推進計画）および健康づくり計画「健康はこだて21（第2次）」を推進するため、大型商業施設等において啓発イベントを開催し、市民の健康意識の醸成を図る。</p>	<p>「健康づくりキャンペーン」の開催 6/17(土), 18(日) 於 テオデハート 血管年齢測定や骨密度測定等の結果をもとに健康・栄養相談を実施し、はこだてげんきな子 食育プラン（函館市食育推進計画）の具体的目標「はこだてげんきなこ」のパネル等を展示した。</p>	<p>命を支える食卓見直しキャンペーン（野菜編）の実施 6/17（日） 於 函館葛屋書店 食育の日（6/19）にちなみ、1日の目標摂取量である野菜350gの計量体験を実施し、野菜のお土産を持参、食育パネル展等、延べ230人参加</p>	<p>「ヘルスアップはこだてinGスクエア」 R元.9.29（日）函館コミュニティプラザ Gスクエア 実施内容 各ブース毎に測定、試食およびパネル展示等 ・がん検診受診率UPブース ・受動喫煙ゼロ推進ブース ・健康クイズラリー ・食育推進ブース ・歯と口の健康 ・介護予防ブース その他 ・同日午後から「はこだて市民健康大学」プレ開校式 および一般教養コースを開講 ・シエスタ内ショップとの連携（9.24～9.30） ①食育ランチョンマット配布（1Fカ&ミ&ムJ） ②野菜摂取ポスター掲示と見本野菜展示の協力 （B1F ベジ&旨&マルシェ） ・健康づくりパネル展 9.24～9.30 来場者数：約200名（9.29当日）</p>			
-	-	58,927				
	<p>「健康づくりフェスタin函館葛屋書店」の開催 生活習慣病予防、がん検診、食育の推進、歯科保健などの健康に関するクイズラリーや各種測定等の体験を通じて、楽しみながら健康について関心を持つためのイベントを開催する。 9/30(土), 10/1(日) 於 函館葛屋書店 （食育の推進コーナー） ・減塩対策（だしの試飲等） 712名体験 ・野菜350g測定 492名体験 ・食育啓発メッセージ入りティッシュ配付 520名 ・はこだてげんきな子 食育プラン（函館市食育推進計画）の具体的目標「はこだてげんきなこ」のパネル等の展示</p>	<p>命を支える食卓見直しキャンペーン（牛乳・乳製品編）の実施 9/1（土） 於 函館葛屋書店 「食生活改善普及運動月間」に簡単にできる乳製品おやつ作り方デモンストラーション見学と試食等、延べ353人参加 9/1（土）～5日（水） 食育パネル展開催</p>				
		178,196				
決算額	1,067,759	47,992	853,000			

<p>はこだて市民健幸大学 市民が楽しみながら健康に関する知識を習得するとともに、運動体験や調理実習などを実践する。修了者がそれぞれの家庭、職場や地域で健康づくりを推進していくことで、市全体の健康度をアップし、健康寿命の延伸を図る。</p>			<p>入学者184名 修了者82名</p>	<p>延べ1,856人参加</p>	<p>(食育関係分) ・“ベジブラ! 楽うまレシピ”コンテスト ・「食育講演会」 ・健幸ラーニング(食育クイズ)など</p>	<p>(食育関係分) ・内臓脂肪燃焼イベント みんなde健幸ウォーキング(食事講話・弁当配付) ・100万歩+プラス(はこだて健幸FOODWEEK)など</p>
<p>決算額</p>			<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>“ベジブラ! 楽うまレシピ”普及事業 令和3年度に官民連携して参集した「“ベジブラ! 楽うまレシピ”コンテスト」レシピやはこだて健幸応援店開発レシピを、様々な機会を利用して周知し、家庭での実践に繋げるとともに、学校や認定こども園等の給食での活用を通して、市民の野菜摂取拡大を図る。</p>						<p>・学校給食等でのレシピ活用 ・スーパーマーケットでのレシピ配布や動画上映等</p>
<p>決算額</p>						<p>292,642</p>
<p>食育実践教室 令和2年度に策定した「第3次函館市食育推進計画」の基本方針である「幅広い世代」に対する食育を推進するため、料理教室等を開催し、日常生活での実践につなげ食や健康への意識を高めることを目的とする。</p>						<p>・減塩や野菜摂取等を目的とした料理教室を3回実施予定</p>
<p>決算額</p>						<p>114,010</p>
<p>函館市栄養成分表示の店推進事業 市民自らが栄養面からの健康管理を行うため、栄養成分表示の店の登録を推進する。</p>	<p>登録店舗 124件</p>	<p>登録店舗 135件</p>	<p>登録店舗 134件</p>	<p>→終了し「はこだてヘルスサポートレストラン推進事業」へ移行</p>		
<p>—</p>						
<p>9月の食生活改善普及運動の月間に、“はこだてげんきなこ”の食育推進キャラクターをデザインしたPOPを店内に貼付してもらい、“もっと野菜を食べよう”等の食育の推進を図った。 (67店舗が協力)</p>						
<p>決算額</p>	<p>2,485</p>	<p>—</p>	<p>1,581</p>			

<p>ヘルスサポートレストラン推進事業 令和2年4月より容器包装に入れられた加工食品への栄養成分表示が完全義務化となりその情勢に合わせて北海道で事業が移行されることを踏まえ、「函館市栄養成分表示の店推進事業」を移行する。</p>				<p>→函館市栄養成分表示の店推進事業より移行 登録店舗 71件</p>		
<p>決算額</p>				<p>13,662</p>		
<p>はこだて健幸応援店推進事業 令和3年5月より北海道の事業に函館市独自の事業を上乗せした形で「ヘルスサポートレストラン推進事業」から移行する。 (内容) ・はこだて健幸応援店“スマートバランスレストラン”の登録および三つ星登録の推進 ・はこだて健幸応援店“スマートバランスレストラン”での健康に関する情報発信 ・“ベジブラ! 楽うまレシピ”開発・提供 ・“はこスマセット(主食・主菜・副菜が揃っていて、健康へ配慮したポイントがあるメニュー)”開発・提供</p>					<p>→ヘルスサポートレストラン推進事業より移行 登録店舗 90件 (“はこスマセット”提供店20店舗)</p>	<p>“はこスマセット”提供店の新規登録を20店舗増やす。</p>
<p>決算額</p>				<p>772,637</p>	<p>718,650</p>	
<p>離乳食教室 初めての離乳食づくりに不安を感じないようにするとともに、離乳食の試食等を通じて「食」の大切さを知ることが目的に開催する。 (内容) ・管理栄養士によるデモンストレーションおよび試食「離乳初期食(5~6か月食)」 ・管理栄養士による講話「離乳食の進め方について」</p>	<p>151名/6回 ※デモンストレーションはヘルスマイトが担当</p>	<p>136名/6回</p>	<p>106組/5回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月21日実施分は中止)</p>	<p>24組/3回 (新型コロナウイルス感染予防拡大防止のため3回は中止し、試食はなしで開催)</p>	<p>28組/4回 (新型コロナウイルス感染予防拡大防止のため2回は中止し、試食はなしで開催)</p>	<p>80組/6回予定</p>
<p>決算額</p>	<p>103,226</p>	<p>107,069</p>	<p>92,778</p>	<p>66,547</p>	<p>56,346</p>	<p>77,166</p>
<p>幼児期のはこだてげんきな子育て教室(パクパク教室)(H29~R1) 生涯にわたって健康な生活の基本である「食を営む力」の育成時期である幼稚園(H29からは、栄養士が配置されていない認定こども園等)年長児を対象として食事の大切さを伝えるため実施する。 (内容) ・子育てアドバイザーによるエプロンシアター等 ・栄養士による食事の話 ・ヘルスマイト(食生活改善推進員)による野菜原料の手作りおやつを持参しての園児への試食 ・保護者向けの簡単おやつレシピの配付</p>	<p>77名/6園</p>	<p>9人/1園 (北海道胆振東部地震による大規模停電のため5園中止) ※子育てアドバイザーによるエプロンシアター等は実施なし</p>	<p>214名/6園実施 ※子育てアドバイザーによるエプロンシアター等は実施なし</p>	<p>(全対象施設実施したため終了)</p>		
<p>決算額</p>	<p>97,724</p>	<p>32,765</p>	<p>55,424</p>			

歯の学校 小学生を対象に学級単位で、歯の健康に関する講話や実験観察を行い、自分の歯の大切さについて学習する。	225名/9回	403名/14回	341名/11回	253名/11回	→口腔保健推進事業に統合	
決算額	486,000	756,000	596,000	605,000		
健口教室 40歳以上の成人を対象に、歯周病予防や口腔機能の維持・増進のための実習や講話を実施する。	15名/2回	623名/17回	413名/13回	47名/4回	→口腔保健推進事業に統合	
決算額	106,000	850,000	659,260	203,704		
口腔保健推進事業 市内の介護施設、企業・団体および小・中学校などからの依頼により、歯科医師を派遣し、オーラルフレイルの予防、口腔ケアの重要性等の講話や歯科相談などを実施する。					→「歯の学校」および健口教室事業見直しによる新規事業 705名/40回	随時実施
決算額						
健診結果説明会 生活習慣病予防と健康診査受診の必要性の普及啓発を行う。	・平成29年度より、視覚教材の一つとして野菜測定を実施 350g野菜測定 69名	68名	79名	健康教育 97名 パンフレット配布 25,455枚	特定健診結果通知表へ健診結果の見方など記載	特定健診結果通知表へ健診結果の見方など記載
決算額	16,446	28,783	61,221	5,805	0	0
ヘルスマイト(食生活改善推進員)の育成 食育推進のボランティア活動を担う「ヘルスマイト(食生活改善推進員)」を養成し、支援する。(令和元年度は養成講座を「はこだて市民健康大学」の1コースとして設定)	〈養成講座〉 16名養成 〈研修事業〉 調理実習、研修会等 190名/10回実施	〈養成講座〉 12名養成 〈研修事業〉 調理実習、研修会等 365名/17回実施	〈養成講座〉 18名養成 〈研修事業〉 研修会 80名/2回実施	〈養成事業〉(中止) 0名養成 〈研修事業〉 研修会 0回実施	〈養成事業〉 8名養成 〈研修事業〉 研修会 2回とも中止	〈養成事業〉 8名養成予定 〈研修事業〉 研修会 2回実施予定
決算額	69,316	76,990	50,700	11,560	131,539	39,080
特定給食施設等への指導・助言 健康増進法第22条により、特定給食施設等の設置者に対し、栄養管理の実施の確保のため必要な指導および助言を行う。	〈状況調査〉183施設 〈施設指導〉24件実施	〈状況調査〉182施設 〈施設指導〉21件実施	〈状況調査〉176施設 〈施設指導〉23件実施	〈状況調査〉175施設 〈施設指導〉0件	〈状況調査〉176施設 〈施設指導〉0件	〈状況調査〉176施設 〈施設指導〉33件予定
決算額	11,908	10,479	11,651	12,922	11,504	16,195
からだサポートコースヘルシーランチ(特定健康診査事後事業) 函館市国民健康保険の加入者で、特定健康診査を受診し特定保健指導または健康づくり相談を利用した方に、ヘルスマイト(食生活改善推進員)が作った「ヘルシーランチ」を提供する。(健康づくり相談利用者は、H26～H28年度の3か年のみ対象)	延べ69名/12回	延べ64名/11回	延べ48名/11回	延べ36名/4回	終了	
決算額	180,000	44,000	90,189	37,862	—	—

食に関する健康教育 町内会や地域団体の依頼等に基づき、生活習慣病予防やその他健康増進を目的とする栄養相談や食・栄養に関する講話を実施する。	762名/14回	615名/16回	487名/14回	97名/4回	53名/2回	随時実施
決算額	-	-	-	-	-	-
健康づくり相談 心身の健康に関する個別の相談に対し、保健師や管理栄養士が必要な指導及び助言を行い、相談者が正しい知識のもと健康管理ができることを目的とする。	176名/58回	161名/54回	88名/39回	14名/9回	16名/14回	毎週水曜日実施
決算額	-	14,893	12,276	10,351	0	7,304
食品表示関係業務 食品表示法で規定する栄養成分表示や機能性食品、健康増進法で規定する特別用途食品や誇大広告の禁止に関する業務を行う。			相談件数 102件	相談件数 103件	相談件数 59件	随時実施
決算額			120,760	0	3,120	120,520
計	2,345,245	2,211,264	2,686,388	1,029,277	1,224,918	1,462,937